**「図書館活動グランプリ　2018」　要項**

（略称　「T－１　グランプリ　2018」）

１　目　的　(1)　日常の図書館での活動を交流することで、図書館広報活動の活性化を図る。

　　　　　　(2)　全道大会で生徒自らが企画・参加・交流する場面を設置し、主体的運営を目指す。

　　　　　　(3)　多様な形態・手法を積極的に評価し、新たな活動や意欲の喚起を図る。

２　形　式　(1)　Ａ２版「手書きポスターでの活動紹介」と「活動紹介文」（Ａ４版１枚）での応募。

　　　　　　(2)　第２次審査通過10校程度による全道大会での決勝大会（第２次審査）でのプレゼンテーションによる発表。

３　規格説明

(1)　Ａ２版（ISO 216規格）「ポスター」サイズ　片面１枚

①白上質Ａ３版貼り合わせによる、Ａ２版420mm（横）×594mm（縦）の縦長使用のみ。

（横長使用は不可）サイズ内での形の変更は不可。

②サイズが正確であれば、Ａ３版(297 × 420mm)を２枚貼りつけても良いし、Ａ１版(594 × 841 mm)を半分に切る等大判からサイズを切り合わせても良い。

③イラスト・カット・写真の使用についても可とするが、著作権フリーのもののみとする。

④紙面に「学校名」「制作日」を明示すること。ただし、表記場所は問わない。

⑤立体構造は認めない。立体物を貼り付けたりぶら下げたりすることも認めない。

(2)　Ａ４版「活動紹介文」について

①当番校ＨＰからダウンロードできる規定フォーマットに学校名・団体名・制作日、活動紹介文（40字×30行以内）を記入し、作成をする。

②「活動紹介文」は必ずしも第２次審査の「読み上げ原稿」である必要はない。

４　応募資格 全道高等学校図書研究大会　参加校とする。

５　応募方法

(1)　ポスター（１部）は四つ折り（Ａ４サイズにし、図書専門部事務局校（札幌南高校Ｔ－１　グランプリ審査係）へ郵送する。貼り付けた写真等に影響のある場合は、大判で郵送しても構わない。

(2)　「活動紹介文」は必要事項を記入し、図書専門部事務局へメールに添付して送る。

　　　　＜応募先＞　〒064-8611　札幌市中央区南１８条西６丁目１－１

　　　　　　　　　　　　札幌南高校　高文連図書専門部 　「Ｔ－１グランプリ審査係」　宛

　　　　　　　　　　　　TEL　011-521-2311 　 FAX 　011-521-2316

　　　　　　　　　　　　メールアドレス　lib.high@hokkaido-c.ed.jp

６　応募期日　 平成３０年８月１０日（金）必着

７　審査日及び審査会場

　　　　　　　（１）第１次審査 ①審査日　　　平成３０年８月２３日（木）

　　　　　　　 ②審査会場　　高文連図書専門部事務局校

　　　　　　　（２）第２次審査 ①審査日　　　平成３０年１０月４日（木）

　　　　　　　 ②審査会場　　全道高等学校図書研究大会

８　審査委員

　　　　　　　（１）第１次審査 図書専門部部長指定専門委員、および事務局が依頼する審査委員

　　　　　　　（２）第２次審査 全道高等学校図書研究大会　参加生徒（投票）

９　審　査　（１）第１次審査 １０校程度を選出（結果は応募校へ8/31までにFAXで通知）

※第2次審査に進んだ学校の「ポスター」と「説明文」は全道大会参加校が事前に見られるようにする。

北海道高等学校文化連盟図書専門部ホームページ

http://www.sapporominami.hokkaido-c.ed.jp/library/newpage.html

パスワードは「2018lib」です

現在昨年度の第２次審査出場校のポスターと紹介文のダウンロードが可能です

パスワードは「2017lib」です

（２）第２次審査（決勝ラウンド）　全道大会での活動紹介（プレゼンテーション）を経て、全参加者生徒（但し、投票用紙は1校最大５枚まで）の投票によって行う。

＜活動紹介＞

・１校５分で発表を行う。

・その際、ポスターをプロジェクターで拡大映写する。

・発表に携われる人数は最大5名。

・発表で使用できるのはワイヤレスマイク2本のみとする。

１０　発　表　・応募された全作品は全道大会会場に展示する。

１１　表　彰　(1)　上位校３校（「グランプリ」１校、「準グランプリ」２校）に「審査委員特別賞」を加えることができる。

(2)　賞状、グランプリ校にはカップおよび副賞。

１２　その他　・グランプリ校は次年度、代表者が次年度グランプリの企画に参加し、全道大会において第２次審査を運営する。なお、その際、作品応募は妨げないが第２次審査の対象外となる。

「図書館活動グランプリ　2018」（略称　「T－１　グランプリ　2018」）　審査基準

＜第１次審査＞

 (1)　日常の図書館での活動が顕著で積極的である。

 (2)　活動が図書館利用向上のために工夫されている。

 (3)　活動内容が分かりやすいようにポスターや説明文に工夫がなされている。

 (4)　活動に独創性があり、困難を克服して継続されている。

＜第２次審査＞

 活動内容及び発表が印象的で活動意欲へとつながったもの。（参加生徒全員による投票）

１．「第１次審査」について

(1)審査方法

　①ポスターについて

　　ア) 審査委員が「説明文」・「ポスター」双方を合わせて審査し、10校を選び投票する。票の多い順に予選通過とする。ただし、審査委員は自校には投票しないこととする。

イ) 予選通過校が同票のため１０校を超える場合は、時間に支障がない限り、対象校を出場させる。ただし、支障がある場合は、審査委員に専門委員長を加えて、通過校を選ぶ決選投票を行う。

　　ウ) 応募数が１次予選通過数（１０校程度）に満たない場合、通過の妥当性を審査委員において合議する。

　②「説明文」について

　　内容に不明な点等があっても、該当校に問い合わせ等は行わないこととする。

(2)規格違反について

　　ポスターを審査前の段階でチェックし、規格違反があった場合、その取り扱いについて投票前に決定する。

(3)審査委員特別賞について

　全応募校の中から審査委員の合議により、審査委員特別賞を決定することができる。

２．「第２次審査」（決勝ラウンド）について

(1)　配布の投票用紙から２校選び、投票する。投票用紙は上下２段になっており、上下で同じ学校を選ぶことは出来ない。同じ学校に２票投じた場合、その投票は無効となる。（投票用紙は「T-1グランプリ2018」会場にて引率の先生から配布されます）

(2)　自校への投票は可能である。各自の良心に基づいて投票するものとする。なお、６名以上の参加のある場合でも投票用紙は５枚を上限とする。

(3)　発表時間は「５分」とする。発表校の合図で計測を始め、発表校の「これで発表を終わります。」までを計測する。時間経過はチャイム等で知らせ、発表時間は投票者（会場）にも分かるようにする。時間超過に対する判断は投票者に任される。

（4） 発表校への諸注意

・PC、プロジェクターやステージ照明などは使用できない。

・ステージ上に待機用の椅子を５脚用意するので、必要に応じて使用しても構わない。